

全国ESDコンソーシアム/
ステークホルダー円卓会議2025
2025年2月22日(土)開催
奈良教育大学管理棟 大会議室

ESD/ユネスコスクール 東北コンソーシアム

市瀬智紀 (宮城教育大学)
齋藤修一 (元只見町教育長)
浅野 亮 (気仙沼市教育委員会)



ESD/ユネスコスクール
東北コンソーシアム

ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム紹介

世界自然遺産
白神山地



ユネスコ食文化創造都市
山形県鶴岡市

ユネスコエコパーク
福島県只見町

ユネスコエコパーク
群馬県水上町



青森県青森市・八戸市

世界遺産 北東北の縄文遺跡群

世界遺産 岩手県平泉町



ラムサール条約湿地（伊豆沼・内沼、蕪栗沼、化女沼）

世界農業遺産

宮城県大崎市教育委員会

宮城県富谷市教育委員会

宮城県白石市

福島県只見町教育委員会

震災遺構

宮城県気仙沼市

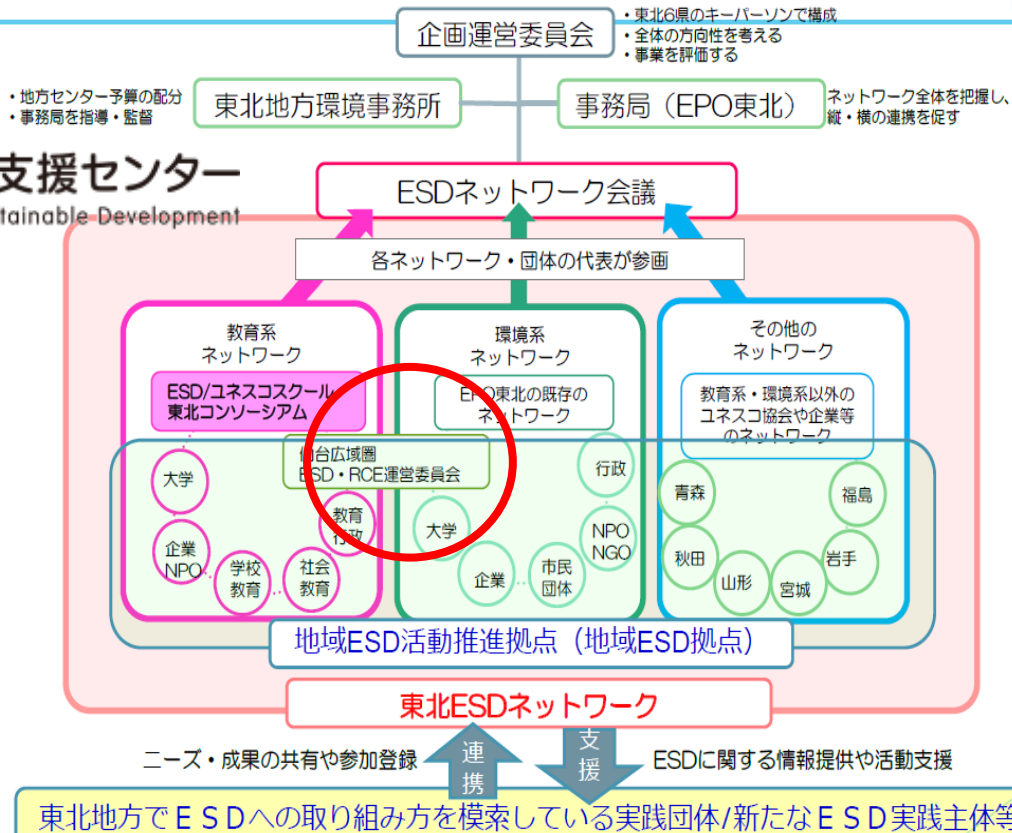
群馬県みなかみ町教育委員会



東北地方ESD活動支援センターとの連携による地域社会におけるESDの展開 2018年から



ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development



活動概要

- ◆ **総会（兼ネットワーク会議）** / 年1回程度
 - ネットワークに参画する主体（地域ESD拠点）が互いの活動を知り、更なる推進・連携に向けて情報共有する場として開催
- ◆ **ESDネットワーク会議** / 年2回程度
 - 各セクターや地域の活動の情報交換と地方センターへの提言等
- ◆ **東北ESDフォーラム** / 年1回程度
 - 東北のESDの普及促進に向けた参加交流型の学び合いの場の創出
- ◆ **イベント、勉強会、地域版交流会、等（仮）**
 - 地域毎にネットワークへ参画する主体が中心となって企画・開催



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

11:30~12:30	受付開始、接続テスト、ポスター参観、昼食時間
12:30~12:35	宮城教育大学 市瀬智紀 開会あいさつ
12:40~12:55	北海道教育大学 石森広美 ユネスコスクールへの期待
13:00~13:15	北海道羅臼町立春松小学校（オンライン参加） 羅臼の魅力 再発見！
13:20~13:35	新潟県妙高市立斐太北小学校 地域の魅力を再確認し、地域への愛着を深める児童の育成
13:40~13:55	青森県八戸工業大学第二高等学校 これからのフェアトレードの在り方に関する一考察～青森県の地域活性化を目指して～
14:00~14:15	山形県立加茂水産高等学校 藻場造成法の研究
14:20~14:35	山形県立東桜学館中学校・高等学校 セクシャルマイノリティの方も含めた全ての人々に配慮したトイレはどのような形態になるのだろうか
14:40~14:55	福島県立安達高等学校 良い土のつくり方 ～環境を考える肥料～
15:00~15:15	宮城県古川学園高等学校 古川学園の側溝における水質と植生の関係
15:20~15:35	みやぎ北ユネスコ協会 文房具バンクの現状と課題
15:40~16:10	気仙沼市立鹿折小学校（ビデオ参加） 山・川・海～いのちのつながりを探る『ガサガサ隊』 気仙沼市立唐桑小学校（ビデオ参加） 自分たちの未来を考えよう
16:10~16:30	休憩タイム
16:30~16:45	表彰と講評、閉会あいさつ



2024年12月21日（土） 13:00~17:00 開催 2024年度 ユネスコスクール北 海道・東北ブロック大会 児童生 徒の探究型学習・課題研究発表

私たちは生物多様性や気候変動などの環境問題、貧困や経済格差などの経済問題、社会的公正や人権侵害などの社会問題をはじめとする地球的諸課題に直面しています。持続可能な社会の実現、2030年に向けたSDGsの実現のために、児童生徒が探究の成果を発表します。

会場・場所：宮城教育大学 420 番教室（ZOOM 併用ハイブリッド型開催）
仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地 仙台駅から約 20 分



宮城教育大学 開会あいさつ
北海道教育大学 石森広美
ユネスコスクールへの期待
新潟県妙高市立斐太北小学校
地域の魅力を再確認し、地域への愛着を深める児童の育成
羅臼町立春松小学校
羅臼の魅力 再発見！
青森県八戸工業大学第二高等学校
これからのフェアトレードの在り方に関する一考察～
青森県の地域活性化を目指して～
山形県立加茂水産高等学校
藻場造成法の研究
山形県立東桜学館中学校・高等学校
セクシャルマイノリティの方も含めた全ての人々に配慮したトイレはどのような形態になるのだろうか
福島県立安達高等学校
宮城県古川学園高等学校
古川学園の側溝における水質と植生の関係
みやぎ北ユネスコ協会
文房具バンクの現状と課題
情報交換会 ポスター発表参観
福島県立安達高等学校、羅臼町立春松小学校、みやぎ北ユネスコ協会など
表彰と講評 閉会あいさつ

ユネスコ未来共創プラットフォーム事業「ユネスコ未来共創プラットフォームの発展に資するユネスコスクールネットワーク活性化事業」
主催：文部科学省・日本ユネスコ国内委員会、宮城教育大学
申込み及び問い合わせ先：〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 国立大学法人宮城教育大学 教育学部 Email：suzuki.rikako1166@gmail.com（鈴木 ichinose@staff.miyakyo-u.ac.jp（市瀬）
参加申込み方法：アドレスに①メールアドレス②お名前③ご所属、をお知らせください。

福島県只見町のESD推進について

1 只見愛と行動力を育成するESD(学校教育)

～只見町のESD(冊子)～

- (1)「学ぶだけでは世界は変わらない」を合言葉に「行動」を
- (2)3小・1中・県立只見高校までの一貫推進体制

2 ホールエリアとしてのESD(行政・企業・町民等)

～東北ESD/SDGsフォーラム2024 in福島只見～

- (1)試験的な取組としての提案、先導的にはまだなれないが
- (2)町長、企業、農業法人、公民館長、町民の取組事例

3 成果

- (1)只見愛が育ち見方が変わり、ふるりの価値への誇りが醸成
- (2)学びを活かして、自分にできる「行動」を起こす気概
- (3)ESDの考え方は、地域のそれぞれの分野で重要

4 課題

- (1)学校現場にESDの意義がなかなか浸透しない
- (2)ESDとSDGsとの有機的な関係理解が進んでいない
- (3)只見町としてESD推進体制構築がされていない
- (4)行政・企業・町民等でどうESDを推進するか模索中

東北ESD/SDGsフォーラム2024 in福島只見

参加無料

～ホールエリアとしてのESDの推進を目指して～

主催：環境省 東北地方環境事務所、東北地方ESD活動支援センター、ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム

後援：福島県、福島県教育委員会、只見町、只見町教育委員会

ESD活動支援センター(全国、北海道地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、九州地方)

みどり豊かで多くの伝統や文化が根付く福島県只見町は、ユネスコエコパークに認定され、ユネスコエコパークを中心としながらまちづくりが行われています。そのまちづくりの基礎にはESDやSDGsがあり、町の行政・企業・学校・民間団体・町民が取り組みを進めようという意識を持っています。そんな只見町から地域全体でESD・SDGsに取組むヒントを得る機会としてフォーラムを開催いたします。



2024.
11.15 Fri 9:00-11:30

会場 対面参加者：先着120名
季の郷 湯ら里 ゆきつばき
(福島県南会津郡只見町大字長浜字上平50)

フォーラム内容

- ① 基調講演
 - ② 取組紹介 5団体から
- ※タイムスケジュール、登壇者は裏面をご覧ください

オンライン配信

YouTubeでリアルタイム配信いたします
お申込みをいただいた方にURLをお知らせします

前日体験イベント

2024.11.14 Thu 16:00-17:00
「自然首都・只見伝承産品」つくるふれる体験活動

会場 季の郷 湯ら里 いわかがみ
内容 3種類の体験をご用意しております ※詳細は裏面をご覧ください

同時開催

2024.11.15 Fri 12:55-16:35
只見町ESD公開授業研究会 主催：只見町教育委員会

会場 只見町立只見中学校 (福島県南会津郡只見町黒谷上野300)
内容 公開授業 2学年と3学年の授業を公開
※詳細・申込は裏面をご覧ください

2024.11.15 Fri 9:00-11:30 東北ESD/SDGsフォーラム2024 タイムスケジュール

9:00 開会 開会挨拶	9:10 基調講演 「ユネスコエコパークの町只見への期待 ～ESD/SDGsの推進に向けて～」 講師：斎藤 恭紀氏 福島テレビ株式会社 営業・メディア本部 報道局報道部 気象予報士・防災士	9:55 取組紹介 ① 渡部 勇夫氏 只見町町長 「ユネスコエコパークとしてのまちづくり」 ② 鈴木 誠氏 会社工場株式会社取締役経理本部 「只見から世界をめざすものづくり」 ③ 三瓶 清志氏 有限会社らんへん 代表 「持続可能な地域を目指す農業の役割」	11:30 閉会
--------------------	---	--	-------------



前日体験イベント 詳細

2024.11.14 Thu 16:00-17:00
「自然首都・只見伝承産品」つくるふれる体験活動

- ① つる細工によるストラップ作成 (明和民芸品保存会)
- ② 只見の手鞠 (ちよの会)
- ③ ぜんまい編毛のコースター (つむぎやikuko)



同時開催 詳細

2024.11.15 Fri 12:55-16:35
只見町ESD公開授業研究会 主催：只見町教育委員会

タイムスケジュール

- 12:40 受付開始
12:55-13:15 研究概要説明
13:25-14:15 公開授業
2学年「持続可能な産業の在り方」
3学年「持続可能な町づくり」
14:25-15:25 事後研究会
15:35-16:30 全体会
ファシリテーター
宮城教育大学 市瀬智紀教授
16:35 閉会



参加お申込み・お問い合わせ

参加申込書 参加をご希望の方は、下記申込書の内容を、電話・FAX・メールのいずれかの方法でご連絡下さい

参加者氏名	
電話番号	
メールアドレス	
ご所属(会社・団体名)	※あればご記入ください
参加方法	対面参加 ・ オンライン参加

対面参加の方はご回答をお願いします

- (1) アクセス方法 自家用車・公共交通機関・その他()
(2) 参加スケジュール ※ご参加予定のプログラムに○をお願いします
※1・3は参加したい箇所をチェックをお願いします
①14日 体験活動 ・ ②15日 フォーラム ・ ③15日 公開授業
 つる細工 手鞠 ぜんまい 2学年 3学年

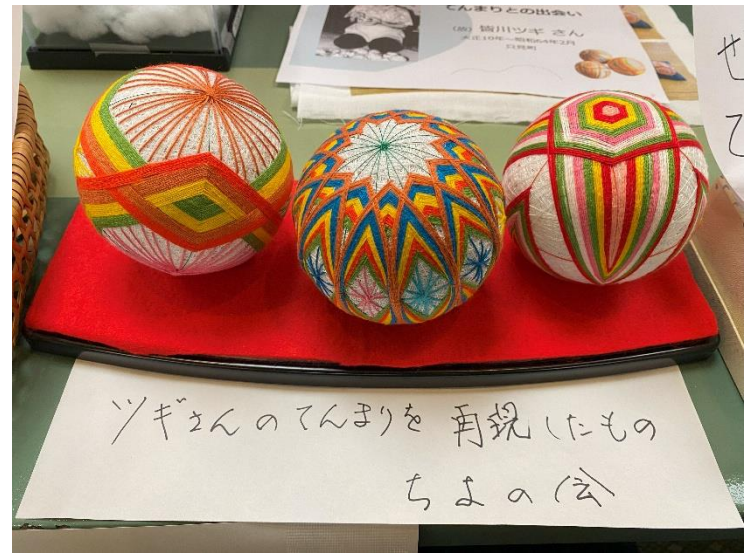
お問い合わせ・事務局
東北地方ESD活動支援センター
(宮城県仙台市青葉区本町3丁目2-23 仙台第2合同庁舎1階)

電話の場合
TEL: 022-393-9615 (平日9:00～17:30)

FAXの場合
FAX: 022-290-7181
※申込書にご記入の上送信して下さい

メールの場合
アドレス: info@tohoku-esdcenter.jp
※申込書の内容をメールにて送信してください







地域間格差を 解消するためには どうしたらよいか

産業の人手不足を 解決するには どうような方法があるか

薪エネルギーには どのような 可能性があるか

3 持続可能な開発目標 (SDGs) 3. 健康と福祉

8 産業と雇用

7 再生可能エネルギー

10 人や地域間の公平

9 産業、科学、技術イノベーション

11 持続可能な都市とコミュニティ

15 陸域生態系

気仙沼のESDの中核を成す「気仙沼ESD/RCE推進委員会（仙台広域圏RCE）」

目的(第2条)

※RCE(Regional Centre of Expertise on ESD:ESD推進の地域拠点 国内には8つのRCE)

1 学校や園と専門機関, 産業団体, 行政, NPO等の関係機関が密接な連携を図りながら, 本市教育の基軸であるESDの推進と関連事業のさらなる充実を図る。

2 仙台広域圏ESD/RCEの一地域として, 仙台広域圏(仙台市, 大崎田尻地区, 白石・七ヶ宿地区等)を含む他地域との連携を進める。

気仙沼ESD/ユネスコスクール研修会

気仙沼ESD/RCE円卓会議

処理事項(第3条)

東北地方ESD活動支援センター
ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム

推進委員会は, 前条(第2条)の目的を達成するため, 次の事項について処理する。

- (1) 地域の特性や特色ある取組を生かした気仙沼のESD推進に関すること
- (2) ESDの推進及び支援に係るネットワークに関すること
- (3) 仙台広域圏ESD/RCEに関すること
- (4) その他関連する事項

※ 構成メンバーは, 委員長(気仙沼商工会議所会頭), 副委員長(気仙沼ユネスコ協会理事, リアス・アーク美術館長, 気仙沼高校長3名), 参与(市教委の歴代教育長等4名)

委員(市行政関係部長・課長, 震災遺構・伝承館長, 市公民館長代表, 認定NPO理事, 地元新聞社専務, 市立幼小中の園長・校長の代表等13名), 事務局(市教委学校教育課3名) 計25名

※ 7月, 10月, 2月の年3回を定期とし, その他必要に応じて開催することとしている。



多様なステークホルダーの参画による気仙沼ESD/RCE円卓会議2023・2024

ESDで育む，時代が求める新しい力とは
～気仙沼のESDが果たしてきた成果とこれからの役割～

講話 コンピテンシー育成の最新動向
～時代が求める学力とESD～
特定非営利活動法人 ESD-J

副代表理事 浅井孝司氏



「活動あって学びなし」とは言わせない教育
データサイエンス～気仙沼ESDの効果～
宮城教育大学 高度教職実践専攻

教授 田端健人氏



パネルディスカッション

コーディネーター	宮城教育大学 教授	市瀬 智紀 氏
パネラー	ESD-J 副代表理事	浅井 孝司 氏
	奈良教育大学 准教授	及川 幸彦 氏
	芝浦工業大学 教授	中口 毅博 氏
	3710Lab 東大海洋教育センター 特任講師	田口 康大 氏
	面瀬小学校 校長	佐藤祐美子 氏
フロア（指定）	気仙沼 ESD/RCE 推進委員会 委員長	菅原 昭彦 氏
	岡山大学 教授	藤井 浩樹 氏

今，求められる価値観と価値実現の力とは

～気仙沼のESDで育み，高める「持続可能な社会の創り手」としての資質・能力～

基調講演

未来を拓く新たな価値の創造
～育ち，つながり，共に変わる深い学びの実現に向けて～
国立教育政策研究所 教育課程調査官
文部科学省 初等中等教育局 教科調査官 齋藤博伸氏



事例発表

「地域とつなぐ防災・減災」 階上中学校 代表生徒2名
「小中，地域で学びをつなぐ」 面瀬小学校 佐藤祐美子 校長



パネルディスカッション

コーディネーター	宮城教育大学 教授	市瀬 智紀 氏
パネラー	国立教育政策研究所 教育課程調査官	齋藤 博伸 氏
	笹川平和財団 客員研究員	日置 光久 氏
	奈良教育大学 准教授	及川 幸彦 氏
	気仙沼ユネスコ協会 理事	佐藤由美子 氏
	階上中学校 3年	鈴木 希空さん 村上 斗真さん



教員研修「気仙沼ESD/ユネスコスクール研修会」(毎年度2回開催：6・1月)

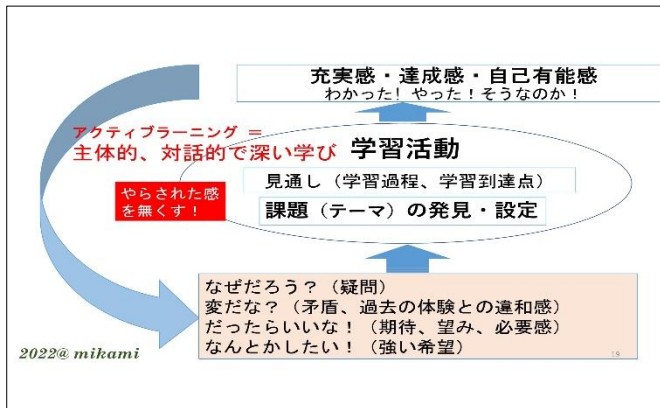
「ウェルビーイング追求時代のホールスクールマネジメント」 ～学校経営全体の視点からのESDの捉え直し～【管理職対象】



宮教大 本図教授



「ESDのさらなる充実に貢献するユネスコスクールであるために」 ～思考を深める, つながりを深める, 実践を深める～



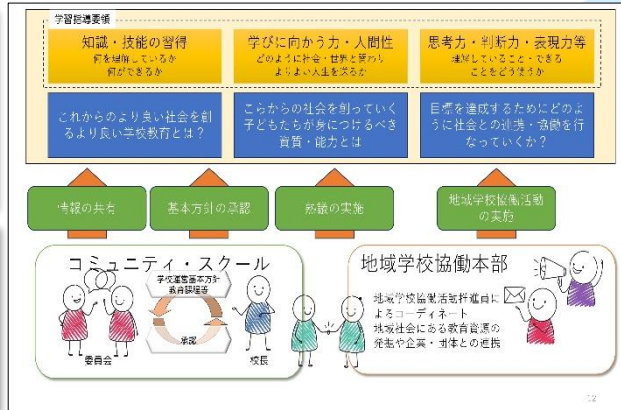
宮教大 見上名誉教授



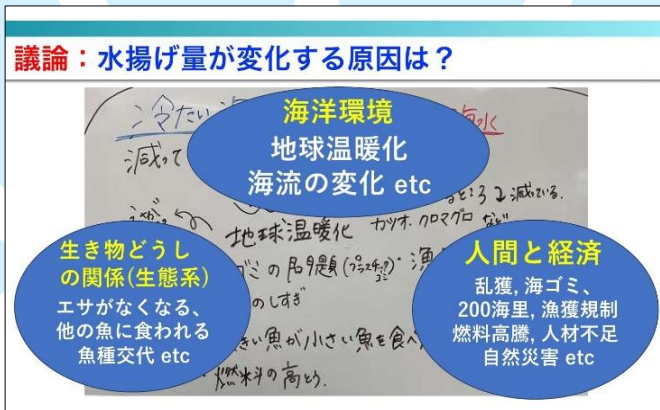
「未来に向けて子どもを地域と共に育てる」 ～学校を核としたスクールコミュニティ～【管理職対象】



板橋区CS 白鳥CDN



「直面している気候危機に対する教育をどうするか」 ～ESD for 2030に貢献する気仙沼のユネスコスクール～



東北大 須賀教授



多様で重層的なネットワークによる国際交流体制づくり (ASPnet×民間ユネスコ)

気仙沼市立鹿折小学校
児童 探究活動/カリキュラムマネジメント 教員(担任)



地域・支援団体
(ESD円卓会議)



日本キリバス協会
Himawari Enterprise



キリバス
ユネスコ協会



仙台ユネスコ協会
東北地方ESD活動支援センター・ネットワーク

気仙沼
ユネスコ協会



アクサ生命・日本ユネスコ協会連盟と 市教委, 学校, 地域との連携による防災・減災教育プログラム



教員研修会 研修スケジュール

2024年9月19日(木)~21日(土)【2泊3日】

- 場 所: 宮城県気仙沼市、仙台市
※感染症拡大の状況等によっては、オンライン開催に変更となる場合がございます。
- 目 的: 東日本大震災の被災地へへの訪問を通して、大震災からの学びを各地の学校での防災・減災教育に生かしていただくための教員研修会を実施する。
- 参 加 者: 本プログラム*の活動助成校、30校の教員30名(1校につき1名参加)
およびユネスコ協会協働校にて参加するユネスコ協会、4団体の職員(4名)
- 主 催: 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
- 協 力: アクサ生命保険株式会社/奈良教育大学 ESD・SDGs センター
プログラム・コーディネーター、講師: 及川 幸彦氏 (奈良教育大学 ESD・SDGs センター 副センター長、奈良教育大学 准教授)
- 講師・ファシリテーター: 上田 和孝氏 (新潟大学工学部附属工学力教育センター 准教授
新潟大学大学院自然科学研究科材料生産システム専攻
社会システム工学コース 准教授)
安田 昌則氏 (公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事、
気仙沼市立階上中学校 校長)

- 研修共催: 気仙沼市教育委員会
- 研修協力: 気仙沼市立階上1
- 後 援: 文部科学省/日

*「アクサ ユネスコ協会 減災教育」重要な防災拠点となる「学校」に行くとともに、助成先の先生方が「研修会」を実施し、卒業生には東

【研修共催・協力】

- ◆ 気仙沼市教育委員会
- ◆ 気仙沼市立階上小学校
- ◆ 気仙沼市立階上中学校
- ◆ 東日本大震災遺構・伝承館



「階上中の生徒による小学生への防災・減災教室」
防災ぬりえ(1年), 防災カルタ(2年), 防災クイズ(3年)



「防災・減災を軸とした個人探究の発表」
「いのちをつなぐ」未来の防災リーダーを目指して



「階上小4年生児童による防災・減災マップの発表」
自治会長, まちづくり協議会, 地域住民の協働・助言



「全国からの多くの参加教員とのディスカッション」
震災を経験していない世代の自分たちにもできること

児童会活動によるユネスコ「世界寺子屋運動」 (書き損じはがき・支援金等の協力)



新型コロナ感染が拡大したキリバス共和国へ児童会より支援金を送る



昼の放送で書き損じハガキ集めと募金活動への協力を呼び掛ける児童



「民間ユネスコ運動の日」記念行事でユネスコ活動への感謝状を贈呈



児童会代表の児童が書き損じハガキを気仙沼ユネスコ協会に届ける

気仙沼学びの産官学コンソーシアム 実施プログラム



高校生の「知りたい」「学びたい」気持ちや未来を切り拓く力を育むため、地域企業や行政、学校がそれぞれの知見や経験を生かし、高校生の学びを支援します。地域や地元企業との実践的な関わりや、多様な知識人による公開講座、それぞれの問いを探究できる公営塾等を開催し、オール気仙沼で学校外の豊かな学びの機会を創出します。

産業コラボ企画

高校生が地域や地元企業と実践的に学べる環境を創る

地元ジョブ体験ウィーク

- 夏休みに高校生が地元企業で実践的に仕事を学べるインターンシッププログラム。
- 企業は高校生と関わることで自社の魅力や課題の再発見につながります。

地元企業と展示会出張！未来ベンチャー

- 高校生が地元企業と一緒に未来の技術やサービスが集まる東京の展示会を視察するプログラム。
- 未来社会に向けて視座を高め、地元の大人たちと将来の夢やまちの未来について語り合えます。



↑ 地元ジョブ体験ウィークで企業 ↑ 地元企業と展示会出張！未来ベンチャーで海外からのブースを訪問



リベラルアーツ企画

高校生が幅広いテーマや世界に視野を広げる環境を創る

公開講座 未来オープン

- 地元から世界に目を向けるため、様々なテーマのスペシャリストを招いて高校生との対話の場をつくりまします。
- 現代の教養（リベラルアーツ）を学ぶ公開講座では、池上彰氏や植松努氏を招いたほか、脱炭素社会に向けた金融の取り組みについて専門家から学びました。



地元の企業
と実践的に
学ぶ

幅広いテーマ
や世界に
視野を広げる

一人ひとりが
探究し
行動する

プロジェクト探究企画

高校生一人ひとりが探究し、行動できる環境を創る

探究学習塾ナミカゼ

- 高校生一人ひとりが夢や関心のあるテーマを思いっきり探究できる公営の探究学習塾。「人生、ナミカゼ立てていこう」がスローガン。
- 世の中の様々なテーマを取り上げ、塾生同士でとことん対話します（月2回～）。



気仙沼ESD/RCEとしてのESD・海洋教育の充実に向けた今後の課題と方向性

1 大人側(行政・企業・市民など)のSDGs, ESDそのものへの**理解と価値認識の共有, 協働実践** ※第2期ESD国内実施計画, 第4期教育振興基本計画

2 気仙沼SDGsの**明確なガバナンス・ビジョンと方向付け, 体系化, 促進力**
※ホールスクール&エリア・マネジメント, 気仙沼市サステナ市民会議(全体会・分科会)

3 気仙沼全体(産官学民)での「**学校教育を超えた気仙沼ESD**」の推進
※社会教育施設(博物館, 水族館, 科学館等)との連携, 学びの産官学コンソーシアム

4 ESD・海洋教育による**幼小中高の一体的な人材育成**(行動変容・学校変革)
※ユネスコスクール, 海洋教育パイオニアスクールとしての探究的・創造的な学びと行動化

5 気仙沼版SDGs(地域創生), 気仙沼ESD(人材育成)について議論し, 上記1を踏まえながら, **2~4の推進に機能する組織づくりと場づくり, サポート**

ASP研修会・PSP推進連絡会 気仙沼ESD/RCE円卓会議

《カリキュラムの改善(教育課程) システムの構築(推進体制) ガバナンスの強化(理念)》18